

CBTで形成的評価実現

5授業の研究成果を発信

【函館発】道教育大学附属函館中学校（中村吉秀校長）は4日、研究会をオンライン開催した。研究主題「1人1台端末環境下における指導と評価の一体化」CBTを活用した学習評価の在り方」のもと、事前公開した5授業の動画について教科別分科会を実施。CBTを取り入れた指導によって、生徒の変容を捉えるとともに、形成的評価を確立させる研究の成果を披露した。

同校は、本年度から2カ年計画でCBTの利活用に
ついて研究。生徒が学習過
程で身に付けた資質・能力
を短期間で図る検証改善サ
イクルを確立すべく、小テ
ストや定期考査でグループ
フォームを活用したCBT
の実践を進めてきた。

CBT活用にあたっては、各教科の年間単元計画で、生徒に育成したい資質・能力を整理。教員は単元や既習の確認等で出題し、生徒の学習状況把握や

指導改善に即時性を持って取り組んでいる。評価の在り方については、授業導入時の「診断的評価」、生徒の変容を見取る「形成的評価」、生徒・教員の教育成果や個々の評定等に役立てる「総括的評価」に反映するなど、CBTによる教育効果の可能性を探っている。

大会当日は、全国28都道府県から約1,200人が参加。開会後、研究主任を務める金子智和教諭が研究概況を指導した。全6時数の単

要を発表したほか、事前配信された国語、数学、理科、保健体育、外国語の5教科における分科会を実施。分科会後は、國學院大学の寺本貴啓教授による講演が行われた。

公開授業1年理科「音による現象」事前配信された5授業のうち、1年生の理科「光・音」による現象 2章 音による現象は、坂見明教諭が指導した。全6時数の単

元では、授業後に音の伝わる過程や性質の違い、振動の様子などを問う問題についてグループフォームを活用したCBTで出題。次時の授業で生徒の理解度を全体共有し、個別最適な学習につなげたり、評価材料の一助にしたりしている。

本時では、連結ストロー笛を作成し、音の高低、大小を表現させる実験に取り組んだ。評価の観点および目標のうち、思考・判断・表現力等には「音の性質の規則性や関係性を見いだす点に勉強になる」「生徒の資質・能力を平等に確認

研究協議では①1人1台端末のICT活用②指導と評価の一体化③理科授業の内容の3点について討議。

参加者からは「CBTで出題した宿題を授業に生かすのが多く見受けられた。新学習指導要領の趣旨実現に向け、生徒の資質・能力育成

する機会につながっている」と肯定的な意見が寄せられた。一方、評価につながるテストを家庭で行う際、厳格性の担保について問う質問が挙がった。

【函館発】道高P連道南支部は、18日午後1時からホテル函館ロイヤルで道南支部研修会を開く。フリーアナウンサーの佐藤麻美氏による講演のほか、研究協議では知内高校PTAの工藤貴嗣会長が「地域に根差したPTA」と題して提言する。

生徒コロナに感染 道立1高学級閉鎖 渡島局

【視点2】問題の工夫による「音」能力の見取り

坂見教諭がオンラインで説明した。表現するなど、科学的に探究することなどを設定。生徒は、グループクロームアプリで電気信号を視覚的に観測できるオシロスコープを使用し「高くて大きい音を出すと振り幅が大きい」と確認。授業後は1人1台端末で音の大小、高低によって異なる音の波形を演奏した動画を提出させ、学習内容の確認に役立てた。

【函館発】渡島教育局は7日、生徒の新型コロナウイルス感染症罹患に伴い、4日から八雲高校で学級閉鎖の措置を講じることとした。休業期間等の詳細は調整中。

【函館発】道高P連道南支部は、18日午後1時からホテル函館ロイヤルで道南支部研修会を開く。フリーアナウンサーの佐藤麻美氏による講演のほか、研究協議では知内高校PTAの工藤貴嗣会長が「地域に根差したPTA」と題して提言する。

18日に研修会 道高P連道南支部